

2016 年 山内地区秋季大会 開催要項

2016 年 10 月 29 日

1. 大会日程

監督会議：10月29日(土) 18:00 山内地区センター
開会式：11月5日(土) 9:00 あざみ野グラウンド
選手宣誓：嶮山ひまわりA 及川主将
試合予定日：11月3日(木祝) 9:30～
試合会場：あざみ野グラウンド、美しが丘西グラウンド、嶮山公園
参加チーム：Aクラス 4チーム Bクラス 5チーム
閉会式：最終試合終了後 あざみ野グラウンドにて

2. 表彰

Aクラス優勝：優勝旗・優勝杯・賞状
Bクラス優勝：優勝杯・賞状
敢闘賞：各チーム1名

3. 大会運営

- (1) A・B両クラスとも、リーグ戦総当たりとし、最多勝利チームを優勝とする。
2チーム同率の場合、当該対戦チームの勝者を上位とする。
3チーム同率の場合、巴戦トーナメント(5回60分)を行う。
- (2) 6年生はAクラスのみ出場とし、5年生以下はA・B両クラスに出場可能とする。
- (3) Bクラスは5年生以下で構成するチームとし、A・B両クラスに出場する選手は、打順表の背番号欄に○印をつける。BとCの背番号は分ける。

重複選手の有無	Bチーム	Cチーム
元石川サンダーボルトA	あり	なし
元石川ベアーズA	あり	—
嶮山ひまわりA	なし	あり
嶮山ファイターズA	あり	—

- (4) ユニフォームがなくても帽子と背番号があれば出場可能とする。
- (5) 全試合において試合前に5分間のシートノックを行う。
- (6) 全試合とも1回以降20点差、2回以降15点差、3回以降10点差、5回以降7点差によるコールドゲームを採用する。
- (7) 打者走者の1塁へのヘッドスライディングを禁止する。
- (8) ベンチ及び応援席は白線にて境界線を作り、雨除け日除けのテント設営を許可する。
- (9) 試合は7回90分とし、90分経過後は新たな回に入らない。

90分経過時点の状況	先攻がリード又は同点	後攻がリード
先攻途中	その回の裏の攻撃も行う	先攻の攻撃終了時(裏はXゲーム)
後攻途中		その打者の終了時(裏はXゲーム)

をもって試合終了とする。

- (10) 同点の場合の対処～山内大会特別ルール～
- ① 90分経過未経験にかかわらず、タイブレークを1イニング行う。
 - ② 90分経過未経験にかかわらず、①の結果も同点の場合は、さらにタイブレークを1イニング行う。
 - ③ ②の結果も同点の場合は、抽選とする。

【タイブレーク(特別延長戦)】

前回からの継続打順で、走者は前位の3人とし(投手は除いてもよい)、無死満塁にて1イニングを行う。

- (11) 審判は原則3人制で行う。
- (12) 特別継続試合(青葉区少年野球連盟大会規定 3.(6)に準ずる)
- 試合が4回以前に中止になった場合でも、4回を過ぎ正式試合になって同点の場合でも再試合にしないで、後日に特別継続試合として、もとの試合の中断された箇所から再開する。両チームの出場選手と打撃順は、試合が中断されたときと全く同一でなければならない。ただし、規則によって認められる交代は許される。また、もとの中断された試合に出場して、他のプレーヤーと交代してその試合から退いたプレーヤーは、再開される試合に出場できない。中断された試合と通算して90分を経過したら、新しいイニングに入らない。

【参照】雨天試合中止による対処

リード \ 中止時	4回表		4回裏	
	途中	終了	途中	終了
先攻	特別継続	特別継続	特別継続	先攻の勝利
後攻	特別継続	後攻の勝利	後攻の勝利	後攻の勝利
同点	特別継続	特別継続	特別継続	特別継続

- (13) その他、2016公認野球規則・競技者必携2016・青葉区少年野球連盟大会規定に準ずる。
- (14) 青葉区大会では、素振り者のガートとなるコーチは背番号29、28番に限定しているが、ウィンターリーグにおいては限定せず、そのチームスタッフであればよいこととする。
- (15) ベンチ入り選手が9名でも、試合開催は可能とする。
- (16) ボークについて
- Aクラス：明らかなものは最初から取る(審判判断により指導・説明)。
Bクラス：初回は審判より注意・指導を行う。
- (17) ボールボーイ・バットボーイについて
- ホームベース後方のファウルボールについては攻撃側チームが担当する。
ボールボーイ・バットボーイもヘルメットを着用する。
- (18) 捕手はレガーズ、プロテクター、スロートガード、ファウルカップを必ず着用すること。
ファウルカップは審判立会いのもと、攻守を決める時に持参しチェックを受けること。
- (19) 熱中症対策として1イニングの守備時間が15分程度を超えた場合は「給水タイム」を取る。
- (20) Re エントリー(再出場)の認可
- ・ベンチ入り選手が全員出場した後、選手の故障・体調不良等により交代を要する場合、試合から退いた選手でも、一度に限り再出場することを審判員が認める。
 - ・再出場する場合は、試合から退いた順に健全な状態の選手の再出場を認める。
 - ・再出場の場合、選手交代申告者は、再出場であることを球審に伝える。
- (21) バックネット裏からの撮影は、カメラの固定のみとし、声援は禁止とする。

4. 各グラウンドの利用に関する注意事項

- (1) グラウンド内の車両の走行は、最徐行とし、砂埃がたたないように注意すること。
- (2) グラウンド内に駐車する車両は、フロントガラスにチーム名を掲示すること。
- (3) 午前9時までは、近隣住民への配慮として、大声・掛け声を自粛すること。

以上